

令和3年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


子ども家庭福祉

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、わが国の子ども家庭福祉に関する法律に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「母子保健法」において、「未熟児」とは、出生時の体重が2,000グラム未満であつて、出生後28日を経過しない乳児をいう。
- B 「児童手当法」において、「児童」とは、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者であつて、日本国内に住所を有するもの又は留学その他の内閣府令で定める理由により日本国内に住所を有しないものをいう。
- C 「子ども・子育て支援法」において、「子ども」とは、小学校就学の始期に達するまでの者をいう。
- D 「母子及び父子並びに寡婦福祉法」において、「児童」とは、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいう。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	×	○

問2 次の文を「児童福祉法」第1条として完成させる場合、(A) ~ (C) の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

全て児童は、(A 日本国憲法) の精神にのっとり、適切に養育されること、その(B 生活) を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその(C 自立) が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × |

問3 次の文は、「児童の権利に関する条約」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 締約国は、児童の生存及び発達を健康で文化的な最低限度の範囲において確保する。
- B 父母又は児童について責任を有する他の者は、自己の能力及び資力の範囲内で、児童の発達に必要な生活条件を確保することについての第一義的な責任を有する。
- C 児童は、表現の自由についての権利を有し、その権利の行使について一切の制限を課されない。
- D 児童は、出生の時から氏名を有する権利及び国籍を取得する権利を有するものとし、また、できる限りその父母を知りかつその父母によって養育される権利を有する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | × |

問4 次の文は、子ども家庭福祉関連の施設・機関に必置とされる専門職に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 保育教諭は、幼保連携型認定こども園に配置される。
- 2 保護司は、児童相談所に配置される。
- 3 母子支援員は、福祉事務所に配置される。
- 4 児童自立支援専門員は、児童養護施設に配置される。
- 5 家庭支援専門相談員は、家庭児童相談室に配置される。

問5 次の文は、子ども家庭福祉の実施体系に関する記述である。不適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 厚生労働省には、「子ども・子育て支援新制度」に基づく業務を所管する「子ども・子育て本部」が設置されている。
- B 市は福祉事務を設置しなければならないが、町村については任意設置である。
- C 「児童福祉法」では、保健所の主な業務として、児童福祉施設に対し、栄養の改善その他衛生に関し、必要な助言を与えることが規定されている。
- D 児童相談所には、必要に応じ、児童を一時保護する施設を設けなければならない。
- E 民生委員を委嘱されている者は、児童委員となることができない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A E
- 3 B C
- 4 C D
- 5 D E

問6 次の文は、児童虐待に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもの親権を行う者は、児童虐待に係る暴行罪、傷害罪その他の犯罪について、親権を行う者であることを理由として、その責めを免れることはない。
- B 「児童虐待の防止等に関する法律」では、子どもの親権を行う者がしつけに際して子どもに体罰を加えることを禁止している。
- C 学校の教職員や児童福祉施設の職員等の子どもの福祉に職務上関係のある者は、児童虐待の予防その他の児童虐待の防止並びに児童虐待を受けた子どもの保護及び自立の支援に関する国及び地方公共団体の施策に協力するよう努めなければならない。
- D 「児童相談所運営指針」では、虐待の通告を受けた際に、子どもの安全確認の実施が必要と判断される事例については、「原則として通告の受理後24時間以内に児童相談所職員又は児童相談所が依頼した者が、安全確認を実施することが望ましい」と記されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	×	○

問7 次の文は、「保育所保育指針」第4章「子育て支援」の2「保育所を利用している保護者に対する子育て支援」の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保護者の(A)と子育ての両立等を支援するため、保護者の多様化した(B)に応じ、病児保育事業など多様な事業を実施する場合には、保護者の状況に配慮するとともに、子どもの(C)が尊重されるよう努め、子どもの生活の(D)を考慮すること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	就労	保育の需要	福祉	連続性
2	家事	保育の需要	権利	連続性
3	家事	ライフスタイル	権利	個別性
4	就労	ライフスタイル	福祉	連続性
5	就労	保育の需要	福祉	個別性

問8 次の文を、「少子化社会対策大綱」(2020(令和2)年5月29日閣議決定)に関する記述として完成させる場合、(A)～(C)の語句が適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

「少子化社会対策大綱」では、①(A 貧困家庭の子ども)が将来にわたる展望を描ける環境をつくる、②(B 多様化)する子育て家庭の様々なニーズに応える、③(C 地域)の実情に応じたきめ細かな取組を進める、④結婚、妊娠・出産、子供・子育てに温かい社会をつくる、⑤科学技術の成果など新たなリソースを積極的に活用する、という5点を基本的な考え方として挙げている。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	○	○	○
2	○	×	○
3	×	○	○
4	×	×	○
5	×	×	×

問9 次のうち、2018(平成30)年の合計特殊出生率が1.0を下回った国を一つ選びなさい。

- 1 スウェーデン
- 2 フランス
- 3 ドイツ
- 4 日本
- 5 韓国

問10 次の文は、子どもの健全育成に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童館と児童遊園には、いずれも児童の遊びを指導する者を配置しなければならない。
- B 「児童福祉法」では、児童館の利用対象を中学校就学前までの児童と規定している。
- C 社会保障審議会は、出版物、舞台芸術、映像・メディア等の部門ごとに、優れた児童福祉文化財の推薦を行っている。
- D 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）がすべての小学生を利用対象としているのに対し、放課後子供教室は保護者が労働等のため昼間家庭にいない小学生を利用対象としている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問11 次の文は、里親に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「児童養護施設入所児童等調査の概要(平成30年2月1日現在)」によると、里親の年齢は里父、里母ともに40～49歳が一番多い。
- 2 里親及びファミリーホームへの委託率(里親等委託率)は、2018(平成30)年度末の全国平均が79.5%であり、児童養護施設に入所する児童の割合20.5%よりも多い。
- 3 里親制度は、児童福祉法に規定された制度であり、養育里親、専門里親、養子縁組里親、親族里親があり、里親の世帯数で一番多いのは養育里親である。
- 4 里親手当は、親族里親には支給されるが、養育里親には支給されない。
- 5 里親が児童の養育の委託を受けた場合、当該児童が18歳になるまで委託を解除することができないため、委託を受けるにあたっては慎重を期する必要がある。

問12 次の文は、第二次世界大戦以前の子ども家庭福祉に関連する法律についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 1911(明治44)年に制定された「工場法」は、12歳未満児の就業禁止、女子・15歳未満児の深夜労働の禁止、15歳未満児の12時間労働の禁止を規定した。
- B 1922(大正11)年に制定された「少年法」は、18歳未満の少年の犯罪その他の非行について、刑事処分の特則と保護処分について定め、保護処分を行う少年審判所が設けられた。
- C 1929(昭和4)年に制定された「救護法」は、13歳以下の児童のみを救護対象と位置づけた。
- D 1933(昭和8)年に制定された「児童虐待防止法」は、14歳未満の不良行為を為す、あるいは為すおそれのある者を対象に教育的保護を行うことを目的とした。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問13 次の文は、「児童福祉法」の一部である。(A) ～ (D) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

第4条 この法律で、児童とは、満18歳に満たない者をいい、児童を左のように分ける。

- 一 (A) 満1歳に満たない者
- 二 (B) 満1歳から、小学校就学の始期に達するまでの者
- 三 (C) 小学校就学の始期から、満18歳に達するまでの者

(中略)

第6条 この法律で、(D) とは、第19条の3、第57条の3第2項、第57条の3の3第2項及び第57条の4第2項を除き、親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護する者をいう。

【語群】

ア	新生児	イ	乳児	ウ	幼児	エ	青年	オ	少年
カ	学童	キ	親権者	ク	保護者				

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | エ | キ |
| 2 | ア | カ | オ | ク |
| 3 | イ | ウ | エ | ク |
| 4 | イ | ウ | オ | ク |
| 5 | イ | カ | オ | キ |

問14 次の文は、子ども家庭福祉に関連する法律についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「児童扶養手当法」は、父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し、もって児童の福祉の増進を図ることを目的としている。
- 2 「子どもの学習支援の推進に関する法律」は、子どもの貧困に起因して学習の支援が必要となる子どもに対し、学習意欲向上及び基礎学力向上を図るために総合的な事項を定め、もって貧困の連鎖を予防することを目的としている。
- 3 「母子及び父子並びに寡婦福祉法」は、母子家庭等及び寡婦の福祉に関する原理を明らかにするとともに、母子家庭等及び寡婦に対し、その生活の安定と向上のために必要な措置を講じ、もって母子家庭等及び寡婦の福祉を図ることを目的としている。
- 4 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」は、子どもの現在及び将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、(中略)子どもの貧困対策に関し、基本理念を定め、国等の責務を明らかにし、及び子どもの貧困対策の基本となる事項を定めることにより、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的としている。
- 5 「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」は、精神又は身体に障害を有する児童について特別児童扶養手当を支給し、精神又は身体に重度の障害を有する児童に障害児福祉手当を支給するとともに、精神又は身体に著しく重度の障害を有する者に特別障害者手当を支給することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的としている。

問15 次の文は、「児童相談所運営指針」（令和3年3月改正 厚生労働省）に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童相談所の基本的機能として、市町村援助機能、相談機能、一時保護機能、措置機能の4つの機能を有していることが記されている。
- B 児童相談所は、親権者の親権喪失、親権停止若しくは管理権喪失(親権喪失等)の審判の請求又はこれらの審判取消しの請求並びに未成年後見人選任及び解任の請求を家庭裁判所に対して行うことができるとしている。
- C 児童相談所は、市町村が実施する里親の選定及び里親と子どもとの間の調整について協力することが求められている。
- D 児童相談所で行う相談の受付のうち、電話相談に関して児童相談所虐待対応ダイヤル171(いち・なな・いち)を活用するよう記されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問16 次の文は、「子ども・子育て支援法」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 内閣総理大臣は、子ども・子育て支援のための施策を総合的に推進するための基本指針を定めるものとしている。
- 2 子ども・子育て支援は、市町村が子育てについての第一義的責任を有することを基本的認識としている。
- 3 内閣府に設置される「子ども・子育て会議」の委員は、子どもの保護者、都道府県知事、市町村長、事業主の代表者、労働者の代表者、子ども・子育て支援関係事業の従事者、子ども・子育て支援に関する学識経験者のうちから、内閣総理大臣が任命する。
- 4 都道府県及び市町村は、子ども・子育て支援のために審議会その他の合議制の機関（地方版子ども・子育て会議）を置くよう努めるものとしている。
- 5 都道府県は、基本指針に即し、「都道府県子ども・子育て支援事業支援計画」を定めるものとしている。

問17 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

外国籍であるXさん（女性）は、Yちゃん（2歳）と日本で生活をしているひとり親である。Xさん、Yちゃんともに日本語がほとんど話せず、Yちゃんは宗教上の理由から食事に配慮を必要としている。このYちゃんが来月から保育所に入所することとなり、保育士はYちゃんの受け入れに不安を感じている。

【設問】

入所に際してXさんに対する保育士の対応として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所の1日の生活の流れが理解できるよう、翻訳機器等を活用したり、わかりやすい日本語や母語を交えたイラスト等を見せながら説明をした。
- B 食事は栄養面を考えた献立としているため、宗教上の理由では、食事の配慮ができないことを説明した。
- C 入所に関する書類の記入方法を説明するため、行政で行っている通訳サービスや、地域の国際交流支援団体の通訳派遣等を利用した。
- D Yちゃんが予防接種や健康診断を受けているか、Xさんに承諾を得て関係機関へ連絡し確認を行った。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	○	×	○
4	○	×	○	○
5	×	○	○	○

問18 次の文は、わが国の外国籍住民に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 厚生労働省の「令和元年（2019）人口動態統計（確定数）の概況」の「日本における外国人の人口動態」によると、出生数（母の国籍別）が一番多い国籍は中国である。
- B 法務省の「在留外国人統計」によると、日本に居住する外国人登録者数は、2014（平成26）年から2019（令和元）年にかけて50万人以上増加している。
- C 「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の4「保育の実施に関して留意すべき事項」には、「子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるようにすること」と外国籍の家庭への配慮が示されている。
- D 文部科学省（学校基本調査）によると、公立小学校に在籍している外国籍の児童数は、2014（平成26）年から2018（平成30）年にかけて、年々減少傾向にある。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	○	×	○
4	○	×	×	○
5	×	○	○	×

問19 次の文は、「児童福祉法」第44条に関する記述である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

児童自立支援施設は、(A)をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により(B)を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その(C)、あわせて(D)について相談その他の援助を行うことを目的とする施設とする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	不良行為	生活指導等	自立を支援し	退所した者
2	犯罪行為	教育的指導	反省を促し	退所した者
3	犯罪行為	生活指導等	自立を支援し	保護者
4	犯罪行為	教育的指導	反省を促し	保護者
5	不良行為	生活指導等	自立を支援し	保護者

問20 次の【表】は、「平成27年国勢調査世帯構造等基本集計結果」における、ある世帯数の増減を時系列に表したものである。何の世帯数を表しているか適切な記述を一つ選びなさい。

【表】

年	世帯数
2000 (平成12) 年	約 62.6 万
2005 (平成17) 年	約 74.9 万
2010 (平成22) 年	約 75.6 万
2015 (平成27) 年	約 75.5 万

- 1 単独世帯数 (世帯人員が1人の世帯)
- 2 夫婦のみの世帯数
- 3 夫婦と子どもから成る世帯数
- 4 母子世帯数 (未婚、死別又は離別の女親と、その未婚の20歳未満の子どものみから成る世帯)
- 5 三世帯世帯数 (世帯主との続き柄が、祖父母、父母、世帯主、子ども及び孫の直系世代のうち、3つ以上の世代の同居が判定可能な世帯)